

SANからのEMULEX LPE31002ブートの設定

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[図](#)

[BIOSからのEmulex LPE31002 HBAの設定](#)

[MDSゾーン分割の例](#)

[確認](#)

はじめに

このドキュメントでは、ストレージレイに接続されたSANスイッチを介してSANからブートするようにEmulex LPE31002 HBAを設定するプロセスについて説明します。

前提条件

要件

この設定を開始する前に、次の要件があることを確認してください。

- MDSスイッチで有効にされたNPIV機能。
- LUNマスキングがストレージ・アレイに構成されている。

使用するコンポーネント

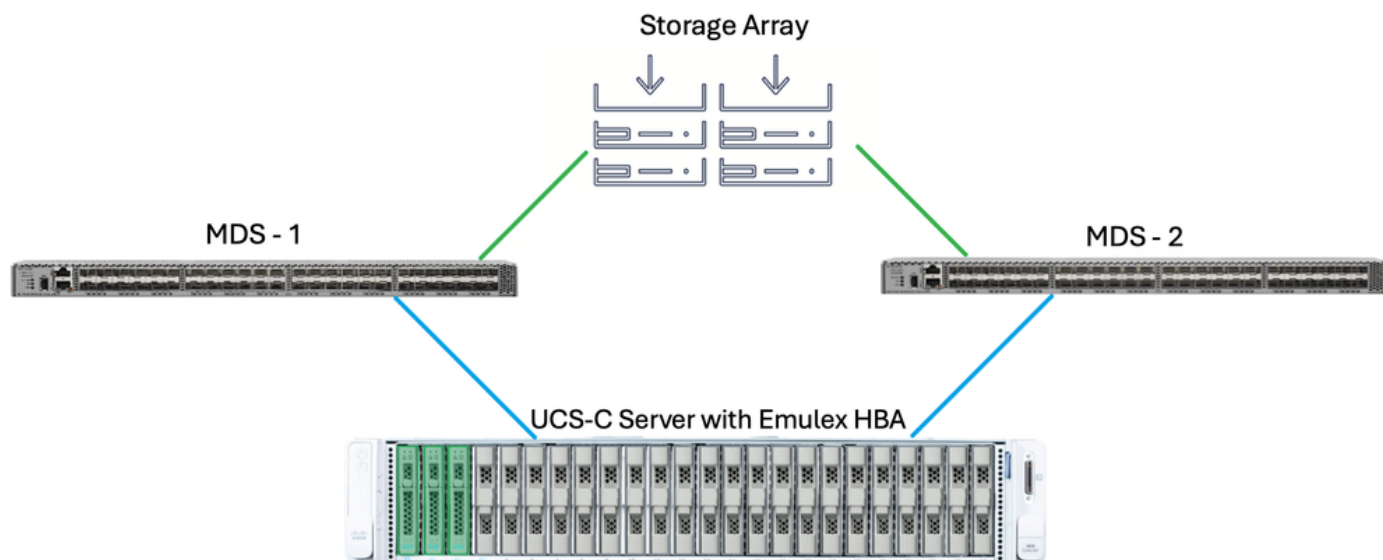
このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- MDS 9148S、ファームウェア9.3(2)
- UCS C220 M7SX、ファームウェア4.3(6a.0.0312251839)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

設定

図



トポロジの設定

BIOSからのEmulex LPE31002 HBAの設定

- サーバの電源を再投入し、F2キーを押してBIOS Setupに入ります。



Copyright (c) 2025 Cisco Systems, Inc.

Press <F2> BIOS Setup : <F6> Boot Menu : <F7> Diagnostics

Press <F8> CIMC Setup : <F12> Network Boot

Bios Version : C220M7.4.3.6a.0.0312251839

Platform ID : C220M7

- Loading Emulex FC SLI4 SCSI Pass Thru Driver

Processor(s) INTEL(R) XEON(R) GOLD 6530

Total Memory = 256 GB Effective Memory = 256 GB

Memory Operating Speed 4800 Mhz

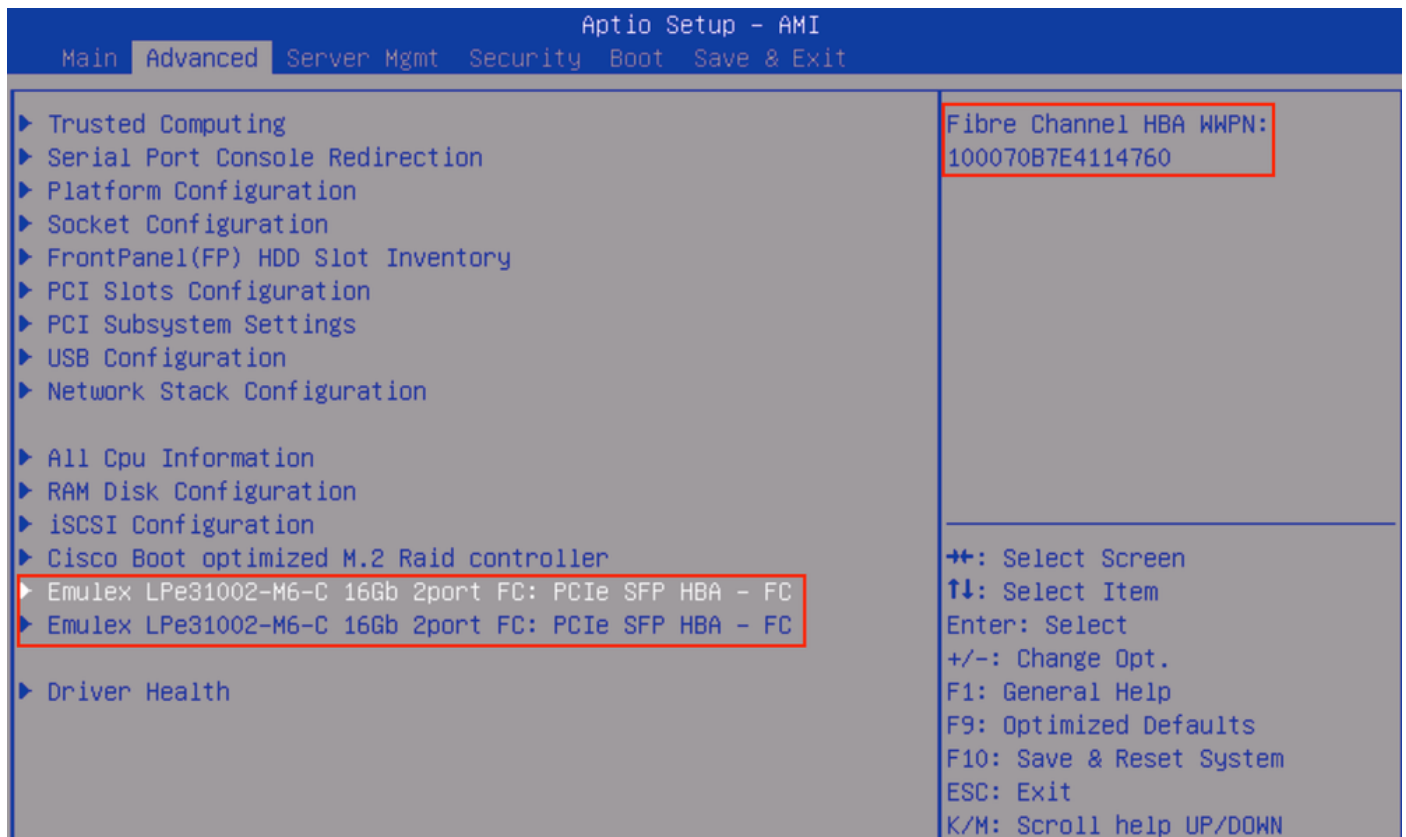
Cisco IMC IPv4 Address :

Cisco IMC MAC Address :

Entering BIOS Setup ...

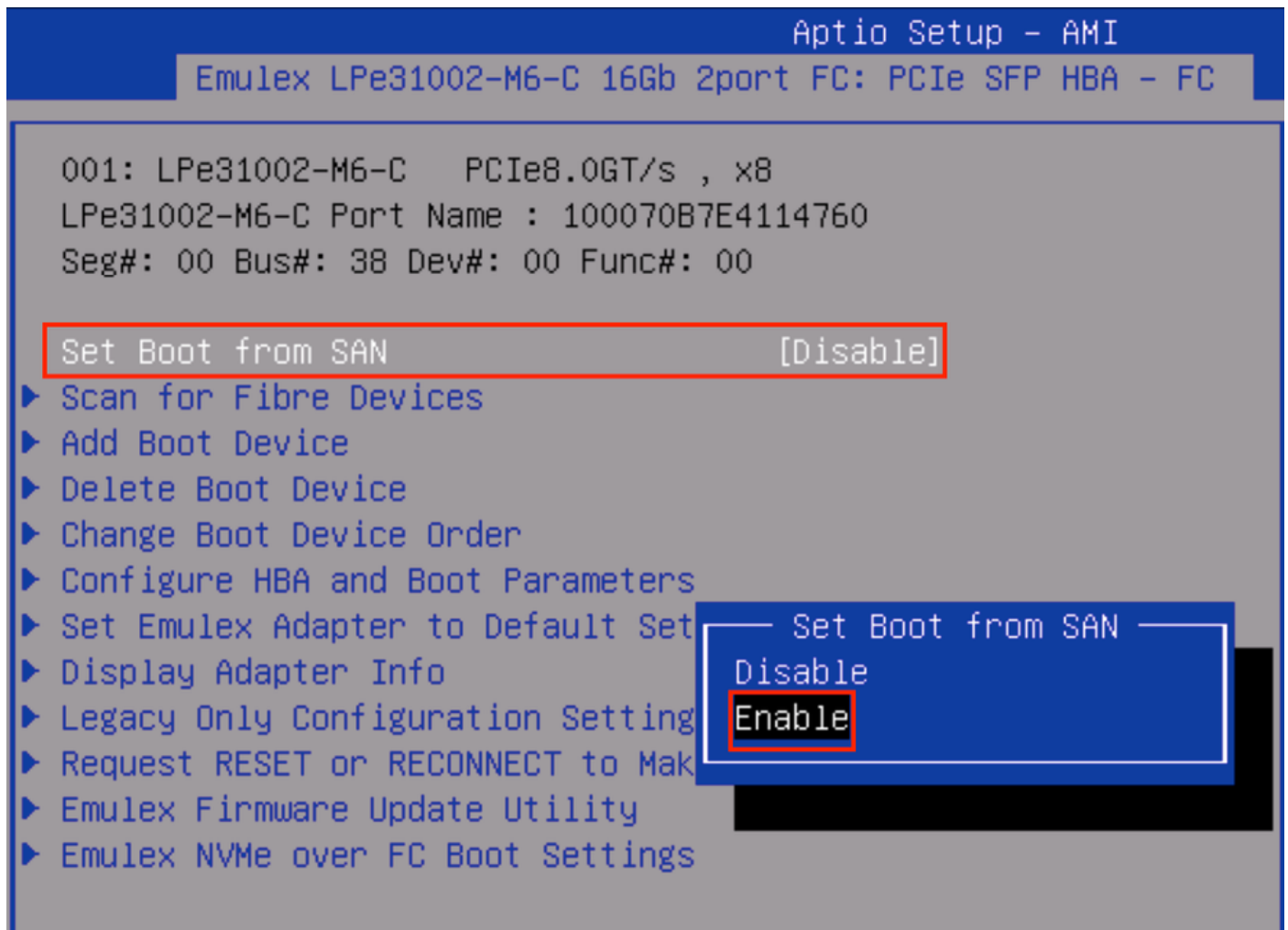
F2を押してBIOS設定に入ります

- Advancedに移動し、Emulex LPe31992 HBAを選択します。各ポートのWorld Wide Port Nameが右上隅に表示されます。



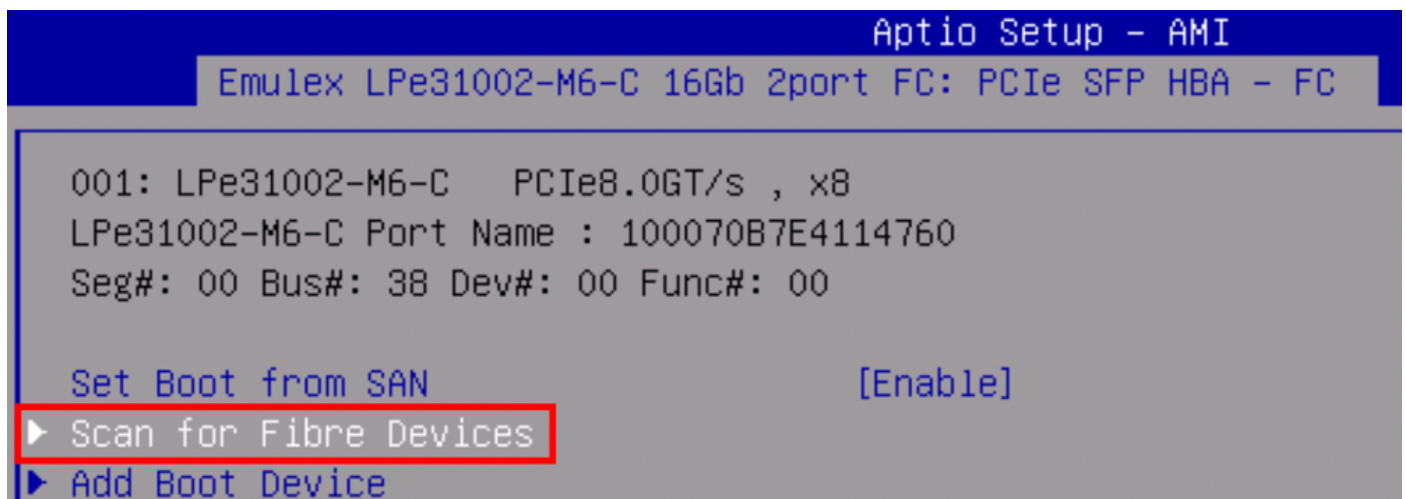
Emulex HBAの選択

- 構成設定で、Boot from SANオプションとEnableを選択します。



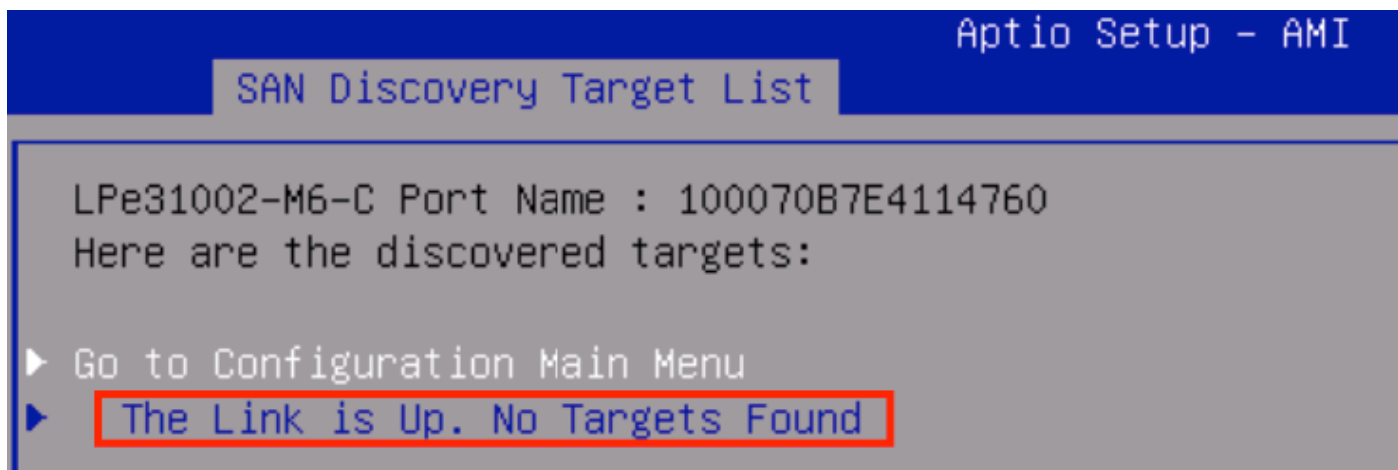
SANからのブートオプションの有効化

- Scan for Fiber Devicesを選択します。このオプションでは、物理リンク接続がアップしているかどうかを確認できます。



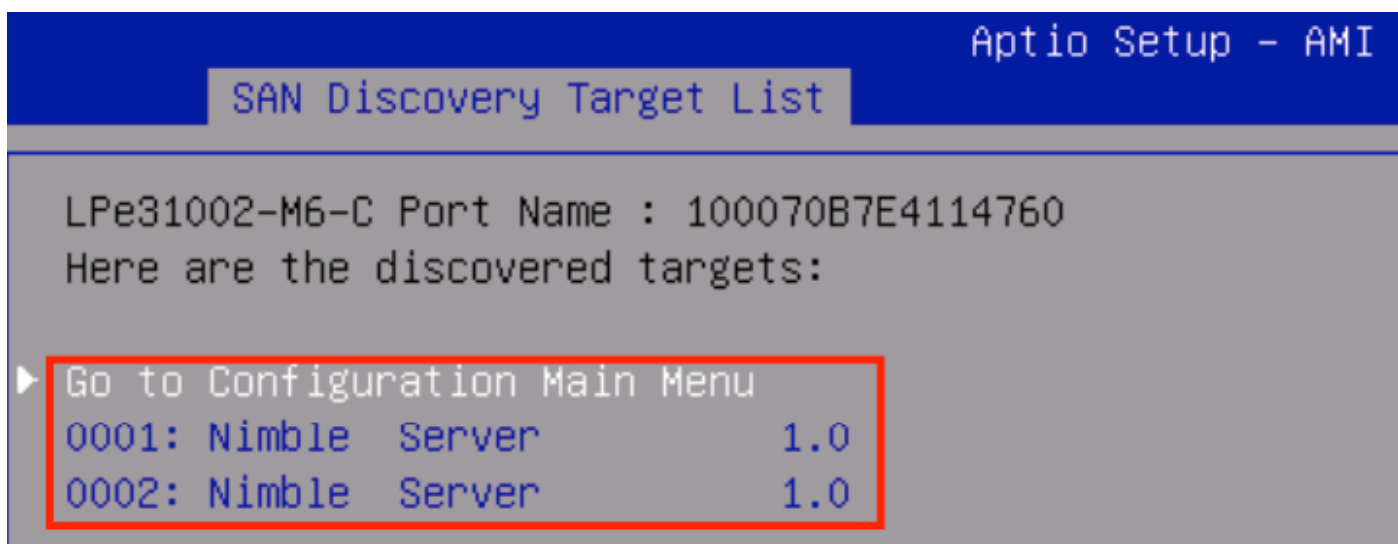
ファイバデバイスのスキャン

- ゾーン分割がまだ構成されていない場合は、「No Targets Found」メッセージが表示されます。次のセクションでは、参照用に、Cisco MDSでのゾーン分割設定の例を示します。



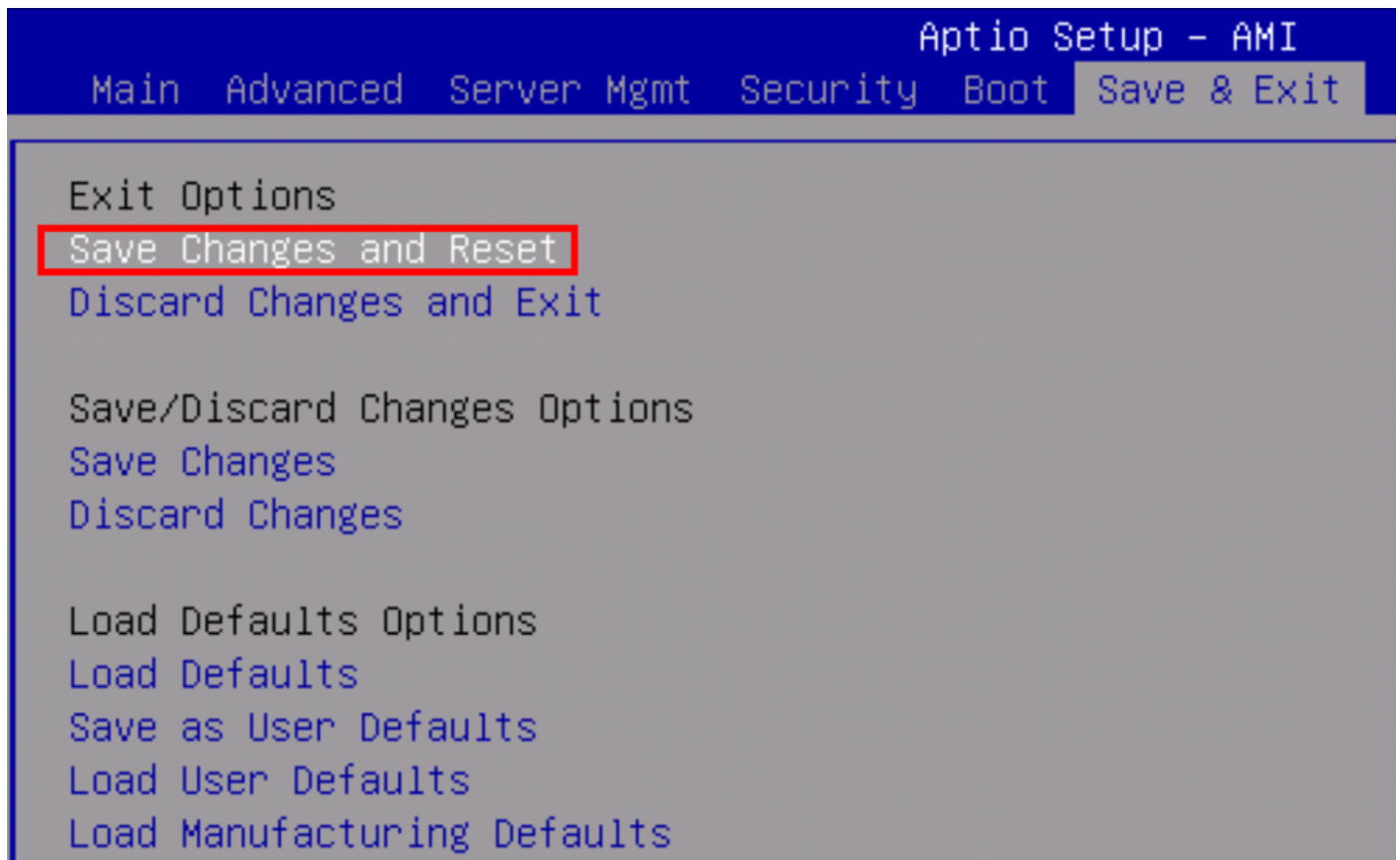
リンクアップ – ターゲットなし

- ゾーニングがすでにSANスイッチに構成されている場合、ストレージターゲットが一覧表示されます。



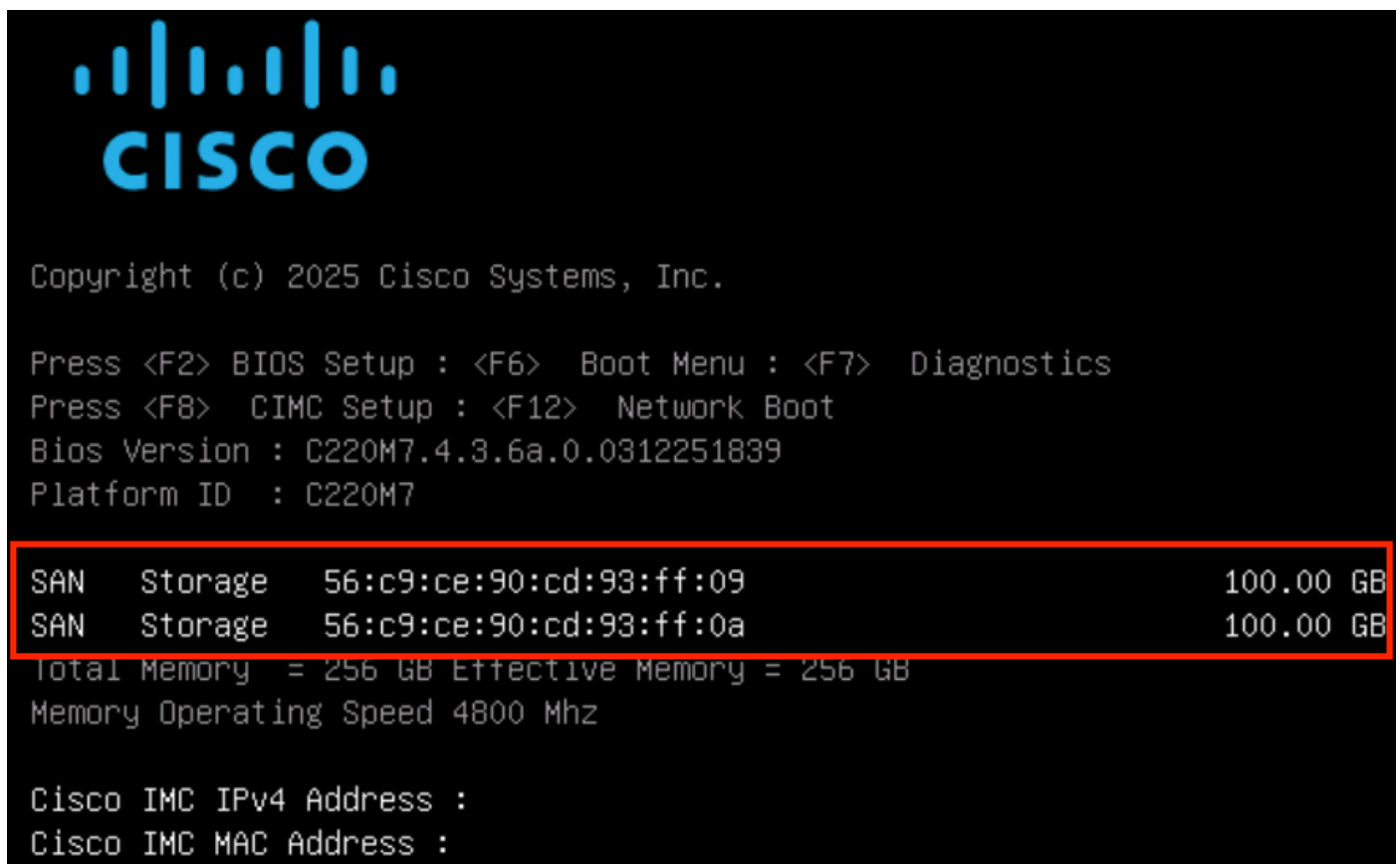
検出されたターゲット

- F10を押すか、Save & Exitに移動してSave Changes and Resetを押します。



変更の保存と電源の再投入

- ・ サーバが起動すると、ストレージターゲットが一覧表示されます。



ストレージバス

MDSゾーン分割の例

この例では、MDSセットアップはハイアベイラビリティモードで設定されます。

 注:MDSデバイスでのゾーン分割の設定についての詳細は、『[ゾーンおよびゾーンセットの設定](#)』を参照してください。

- MDS 1
 - Emulex HBAポート0 WWPN:10:00:70:b7:e4:11:47:61 VSAN 100
 - ストレージレイポートFC1 wwpn:56:c9:ce:90:cd:93:ff:05 VSAN 100
 - ストレージレイポートFC2 wwpn: 56:c9:ce:90:cd:93:ff:0a VSAN 100
- MDS 2
 - Emulex HBAポート1 WWPN:10:00:70:b7:e4:11:47:60 VSAN 200
 - ストレージレイポートFC1 56:c9:ce:90:cd:93:ff:09 VSAN 200
 - ストレージレイポートFC2 56:c9:ce:90:cd:93:ff:06 VSAN 200
- 両方のMDSスイッチのEmulex HBAポートのインターフェイス設定

```
interface fc1/25
switchport mode F
switchport description "EMULEX - C220M7 PORT X"
switchport trunk mode off
port-license acquire
no shutdown
```

- MDSスイッチ1でのゾーン作成。

```
zone name UCSC_220M7_EMULEX_PORT_0_SPA_FC1 vsan 100
member pwwn 10:00:70:b7:e4:11:47:61
member pwwn 56:c9:ce:90:cd:93:ff:05
```

```
zone name UCSC_220M7_EMULEX_PORT_0_SPB_FC2 vsan 100
member pwwn 10:00:70:b7:e4:11:47:61
member pwwn 56:c9:ce:90:cd:93:ff:0a
```

- MDS switch1上でのゾーンセットの作成。

```
zoneset name EMULEX_HBA vsan 100
member UCSC_220M7_EMULEX_PORT_0_SPA_FC1
member UCSC_220M7_EMULEX_PORT_0_SPB_FC2
```

- MDS 1でのゾーンセットのアクティベーション。

```
zoneset activate name EMULEX_HBA vsan 100
```

- MDSスイッチ2でのゾーンの作成

```
zone name UCSC_220M7_EMULEX_PORT_1_SPA_FC2 vsan 200
member pwwn 10:00:70:b7:e4:11:47:60
member pwwn 56:c9:ce:90:cd:93:ff:06
```

```
zone name UCSC_220M7_EMULEX_PORT_1_SPB_FC1 vsan 200
member pwwn 10:00:70:b7:e4:11:47:60
member pwwn 56:c9:ce:90:cd:93:ff:09
```

- MDSスイッチ2でのゾーンセットの作成。

```
zoneset name EMULEX_HBA vsan 200
member UCSC_220M7_EMULEX_PORT_1_SPA_FC2
member UCSC_220M7_EMULEX_PORT_1_SPB_FC1
```

- MDSスイッチ2でのゾーンセットのアクティベーション。

```
zoneset activate name EMULEX_HBA vsan 200
```

確認

HBAとストレージレイがファブリックに正常にログインしていることを確認します。MDSスイッチへのsshセッションを開き、show flogi databaseコマンドを使用してwwpnを確認します。例：

```
MDS-01# show flogi database
```

```
-----
INTERFACE VSAN FCID PORT NAME NODE NAME
-----
```

```
fc1/25 100 0x162f00 10:00:70:b7:e4:11:47:61 20:00:70:b7:e4:11:47:61
fc1/47 100 0x160100 56:c9:ce:90:cd:93:ff:05 56:c9:ce:90:cd:93:ff:00
fc1/48 100 0x160400 56:c9:ce:90:cd:93:ff:0a 56:c9:ce:90:cd:93:ff:00
```

```
MDS-02# show flogi database
```

```
-----  
INTERFACE VSAN FCID PORT NAME NODE NAME  
-----
```

```
fc1/25 200 0x742800 10:00:70:b7:e4:11:47:60 20:00:70:b7:e4:11:47:60  
fc1/47 200 0x740200 56:c9:ce:90:cd:93:ff:09 56:c9:ce:90:cd:93:ff:00  
fc1/48 200 0x740300 56:c9:ce:90:cd:93:ff:06 56:c9:ce:90:cd:93:ff:00
```

show zoneset activeコマンドを使用して、すべてのwwpnに有効なfcidが割り当てられ、アクティブ (アスタリスクの*記号が付いている) であることを確認します

```
MDS-01# show zoneset active
```

```
zone name UCSC_220M7_EMULEX_PORT_0_SPA_FC1 vsan 100  
* fcid 0x162f00 [pwwn 10:00:70:b7:e4:11:47:61]  
* fcid 0x160100 [pwwn 56:c9:ce:90:cd:93:ff:05]
```

```
zone name UCSC_220M7_EMULEX_PORT_0_SPB_FC2 vsan 100  
* fcid 0x162f00 [pwwn 10:00:70:b7:e4:11:47:61]  
* fcid 0x160400 [pwwn 56:c9:ce:90:cd:93:ff:0a]
```

```
MDS-02# show zoneset active
```

```
zone name UCSC_220M7_EMULEX_PORT_1_SPB_FC1 vsan 200  
* fcid 0x742800 [pwwn 10:00:70:b7:e4:11:47:60]  
* fcid 0x740200 [pwwn 56:c9:ce:90:cd:93:ff:09]
```

```
zone name UCSC_220M7_EMULEX_PORT_1_SPA_FC2 vsan 200  
* fcid 0x742800 [pwwn 10:00:70:b7:e4:11:47:60]  
* fcid 0x740300 [pwwn 56:c9:ce:90:cd:93:ff:06]
```

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。